る操業費などを削減し、期と通期とも経常損失を

警戒も

に圧縮する。

績予想修正が目立つ半景気の先行きは依然とし透明感が強い。こうした三光合成とコーセルは「来月以降の景気動向に不透部分がある」（町野社長）て修正を中間期だけにと、通期は見送った。三光の黒田健宗社長は「燃料や太陽光パネルなど環境が景気回復の鍵を握って。ただ、本格回復まで1、かかるのではないか」と

上海から商社などを招いた。出展社数などは「県内で行わる商談会としては最大級」（北銀営業企画室）という。

県内を中心にIT（情報技術）や環境、健康、食、地場産業など幅広い分野の162社が製品やパンフレットを並べてPR。バイヤー企業は上海のほか、東京や大阪、愛知などから47社が参加し、分刻みのスケジュールで商談をこなした。

オープニングでは、高橋市長と高木繁雄北銀頭取、土屋嶢大垣共立銀頭取、高柳卓三高岡商議所副会頭らがテープカットした。

助成金交付先を決定

県新世紀産業機構は28日、とやま新事業創造基金の農商工連携、地域資源の両ファンド事業について、本年度の第2期の助成金交付先を決定した。対象は農商工連携、地域資源それぞれ5件。

◇農商工連携▽パティスリーシュン（氷見）・久目果実生産組合（同）▽彩おやべ（小矢部）・津沢養鶏（同）▽京吉（射水）・宅間三郎（砺波）▽川口食品（射水）

地面積1万633平方㍍、鉄骨平屋建て2392平方㍍で金館バリアフリー構造。154席の儀式用ホールを2室、通夜室2室、読経室2室、法

え、駐車場は221台収容できる。

式には奥野社長や奥野博会長、工事関係者ら約35人が出席した。29日午前9時～午後

当者約800人が訪れ、試食をしながら味や販売方法を確認した。

年間最大の商機となる年末年始商戦に向け、毎年開催し

新日本コンサル

下水道の長寿命化計画 支援システム開発

新日本コンサルタントが開発した下水道長寿命化計画支援システム

建設コンサルタントの新日本コンサルタント（富山市吉作、市森友明社長）は、下水道長寿命化計画策定の支援システムを開発した。配管の位置や種類、検査カメラによる診断結果をデータ化し、劣化状況などから、修復が必要な箇所を優先順位を付けて提示する。これにより、自治体は適切なタイミングで修復工事ができるようになり、下水道の長寿命化につながる。

ソフトは、下水道管の長さや直径などを地図に記した下水道台帳のデータ版を基に作成した。カメラ検査の結果を入力すると、劣化状況により各管をランク分けし、修復が必要な管を拾い出す。さらに敷設環境、老朽化度、予算などから、工事の優先順位を示す。

下水道に関する書類は膨大な数となるため、従来のような書類を見比べながらの計画策定には、時間と手間が掛かっていた。今後はシステムを使うことで、大幅に時間を短縮でき、破損管の見落としを防ぐこともできる。

国は公共工事の費用削減に向け、各自治体に対し、適切な修復により使用年数を延ばす「下水道長寿命化計画」の策定を求めている。同社はすでに富山、射水、金沢の3市から計画策定を受注。22年度は本年度の3倍以上となる1億5千万円の受注高を目指す。

＊スポット

米三会長
増山 三雄氏（70）

■よってたかって知恵を

「買い物客と売り手の1対1の関係を見つめ直すことが重要だ」。消費低迷が続く小売り業界にあって、生き残りの方向性をこう指摘する。

特に富山市中心商店街の多くの商業者は、安さと品揃えを武器にした量販店に押され、かつての面影はない。「中心部はより専門化しながら、少ないお客さんをしっかりつかんでいくしかない」という。

コンパクトなまちづくりの大号令の下、市中心部に機能集積した都市設計が進むが、「芯にどう肉付けするかが大切」と力説。商業者はもちろん、行政、商工団体などが「よってたかって知恵を出さなければならない」と強調する。

4週連続で下落

石油情報センターは28日、レギュラーガソリンの26日現在の全国平均小売価格が前週（19日）より50銭安の1㍑当たり127円40銭だったと発表した。下落は4週連続。富山は125円60銭。

46都道府県で平均価格が下落。下落幅が最も大きかったのは3円安の福井で、1円70銭安の富山、1円40銭安の神奈川と続いた。横ばいは島根だけで、上昇はなかった。

ハイオクは50銭安の138円20銭。軽油は20銭安の10かったとみられる。

富山けいざい＊短信

■暴力団排除へ研修 県銀行警察連絡協議会（亀谷勉会長）は28日、富山市の富山電気ビルで、暴力団など反社会的勢力への対応方法を学ぶ研修会を開いた。県内に支店を置く金融機関などから31人が参加。県警組織犯罪対策課の担当者が暴力団の現状について説明した。暴力団関係者が支店を訪れたとの設定で実演訓練も行い、参加者は「名刺は渡す必要がない」「長居させないため、お茶は出さない」などとアドバイスを受けた。

■ピアニカなど210個を寄贈 北陸銀行はCSR（企業の社会的責任）活動として、NPO法人を通じてカンボジアの子どもたちにピアニカとリコーダー計210個を贈る。

カンボジアで学校教育支援に取り組むNPO法人「JHP・

った。11日かれる森の講座で贈呈

■リスク富山市山市金際会議事業継など企（BCP）

11月11日、的ホール

る危機管理対策について100人で切りは今日同社、078。

■単元株ツ金属は株数を現株に引き株の流動日付で実施

単元株

上市信用金庫人事（26日

川長（立山

川原長（赤

富山市民大学う。

年末年始に向けた商材を一示したアルビス総合商談会市流通センター水戸田

付加価値の高い商品し、幅広い価格帯とし気低迷で外食を控え自事をする傾向が強まっことから、総菜の種類した。

純利益56%増

北国銀行は28日、9日期の単体、連結の業績修正した。

単体の経常収益は前（5月）に比べ0・6%302億円で、経常利価証券の減損処理によ4%減の22億円となみ。純利益は税効果会動で56・0%増の39億た。

連結の経常収益は1減の366億円、経常12・9%減の27億円、は57・6%増の41億円

北日本新聞　平成21年10月29日（木）掲載